



第1回プーケット国際マラソン™、成功を収める

2006年6月22日バンコク - タイのリゾート地、プーケット島で2006年6月18日、第1回目のプーケット国際マラソン™が開催された。メインのマラソンのほか各種レースで大勢のランナーが競い合い、大会は数千人の参加者でにぎわった。

「パラダイスで走ろう！」をキャッチフレーズに参加者を募った本大会では、6月18日（日曜日）にフルマラソン、ハーフマラソン、10 kmファン・ランおよび1 kmキッズ・ランの各種目のレースが行われ、タイ国内の参加者のほか、30カ国を超える国々から約500人が参加して、島の美しい景色と有名なビーチを楽しんだ。本イベントには、日本のテレビの著名人で元オリンピックランナーの増田明美氏、韓国のポップスターでベイビー・ボックスというガールバンドのメンバー、リー・ヒー・ジンおよび「羊のドリー」のクローン作成で世界的に有名な科学者、アラン・コールマンなど数人の有名人も参加して話題を呼んだ。

大会主催者、ゴー・アドベンチャー・アジア (Go Adventure Asia) の代表取締役を務めるライムンド・ウェレンホーフ (Raimund Wellenhofer) 氏は、「プーケット国際マラソン™は、初めての試みとしては我々の期待をはるかに上回るものとなりました。地方自治体、後援企業、そしてプーケットに住むすべての人々の相互協力により、大会の期間全体を通じて成功を収めることができました。参加者から寄せられた感想や報道記事は素晴らしい内容ばかりで、来年の6月17日に開かれる第2回目の開催を楽しみにしています」と述べている。

「すべての参加者にとって、この大会は単なるマラソンを超えるものになったと思います。プーケットとその素晴らしい環境を体験し、プーケットについて世界に伝え、旅行し、家族みんなで催しに参加する催しになりました。そして、最も重要なことは、皆が心から楽しんだことです」と同氏は付け加える。

「特に自慢できるのは、海外からの参加者とマスコミの取材がかなりの数に上ったことです。アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、日本その他の国々からランナーと報道関係者が訪れました。これは、国際社会がこの大会に強い興味を持ったこと、そして次回の大会も大きな可能性を持っていることをはっきりと示しています。来年度のプーケット国際マラソン™・フェスティバルはさらに素晴らしい内容となり、規模も大きくなることは間違いありません」と同氏は語っている。

Shih Chieh Ko マラソンの総合優勝者は、台北から参加したランナーのシー・シー・コ (Shih Chieh Ko) 氏。女子の部の優勝者は米国から参加したヒーサー・アリシア・グレッグ (Heather Alicia Gregg) 氏だった。

Laguna Phuket International Marathon™

www.phuketmarathon.com

Go Adventure Asia (Chip Timing Co., Ltd.)

109 Fl. 5, CCT Building, Surawong Road, Bangrak, Bangkok 10500 THAILAND Tel. +66 2 2362931-2 Fax. +66 2 2372321

Email: info1@goadventureasia.com